

シンバイオ製薬株式会社

2011年9月20日

市場	大証 (JQ グロース)	業績 (百万円)	2009/12	2010/12	2011/6 (2Q)
上場承認日	2011/ 9/ 14	売上高	1,191	1,449	982
上場予定日	2011/ 10/ 20	営業利益	△208	△612	△701
主幹事証券	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券	経常利益	△214	△638	△700
監査法人	新日本有限責任監査法人	当期利益	△217	△642	△707
URL	<a href="http://www.symbiopharma.com/">http://www.symbiopharma.com/</a>	総資産	4,260	4,262	6,105
証券コード	4582	純資産	4,053	4,083	5,375

### ● 事業内容 (特に記載しない限り、数値は2010/12期)

- ・同社は、米アムジェンの本社副社長・アムジェン日本法人社長を歴任した現代表取締役により、2005/3に設立された。いわゆる創薬系企業では、新薬の承認・商品化までの確率が低く、かつ、長時間を要するのが難点であるが、同社は、主に既にヒトでの有効性・安全性が確立され、前臨床試験データと臨床試験データが存在する化合物に特化しているため、高確率・短時間で商品化を可能にしている。
- ・症状は、がん・血液・自己免疫抑制の3治療領域が中心。大型新薬(売上1,000億円以上)でなく、相対的に小規模でも医療ニーズの高い医薬品及び新薬候補品を数多く保有することで、強固なパイプライン・ポートフォリオを構築し、持続性のある事業展開を達成することを目指している。当該治療領域では、ドラッグ・ラグ問題(海外の標準薬が日本では未承認のため使用できない)が顕著であるが、その理由として、高い専門性が求められる領域である一方で、大手製薬会社では採算性の問題から開発に着手しにくいことが挙げられている。同社は、競合他社の少ないこれら分野に進出し、中小規模の新薬を複数開発・保有することを目指していると考えられる。
- ・現状、抗癌剤を中心に5つの開発品目を有しており、今後も新規開発品を継続的に導入していく予定。そのうち1つの抗癌剤(SyB L-0501)については、2010/10に国内で承認を受け、同年12月にエーザイ(株)を通じて「トレアキシン」という商品名で発売を開始している。
- ・売上高は、①マイルストーン収入、②商品販売収入に分類され、2010/12期はそれぞれ11億円、3億円。②は、「トレアキシン」の販売により初めて計上された(2009/12期の売上は①のみ)。そのため、通期で売上に寄与するのは2011/12期からとなる。なお2011/6(2Q)における②の売上は、8億円。
- ・同社は、研究設備・生産設備を持たず、定型的な開発業務は外注し、付加価値の高い業務(開発候補品の探索・導入、開発戦略策定と実行)に専念することで、設備資産と固定費の抑制を目指している。

### ● 財務諸表より (特に記載しない限り、数値は2010/12期)

- ・総資産は42億円。主に、現預金23億円、有価証券17億円、前払費用1億円など。有価証券は主にMMF等であり、C/F上も現金同等物として扱われているため、資産のほぼ全てがキャッシュと考えられる。なお、申請期である2011/12期において4回(20億円弱)の第三者割当増資を行っており、2011/6(2Q)では、総資産61億円(うち現預金・有価証券合計で54億円)と財政状態が大きく変動している。
- ・負債も1.7億円のうち未払金が1.2億円と、シンプルなBSである。
- ・損益面では、トレアキシンの売上原価(2億円)の他は、販管費に人件費(3億円)と研究開発費(11億円)が計上されている程度である。設備も保有していないため、減価償却費も少額(0.02億円)。なお、トレアキシンの粗利率は、23~27%程度と推察される。
- ・繰延税金資産として認識していない税務上の繰越欠損金が29億円(課税所得ベース:推定値)存在するため、利益基調になった際には、業績にプラスの影響を及ぼすことが想定される。

### ● その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

- ・調達予定額は25.9億円。調達資金は、2012/12期・2013/12期に実施予定の臨床試験費用とマイルストーン支払に全額充当予定。なお、OAを実施する場合を除き、売出は行わない予定。
- ・株主構成では、代表取締役が議決権の21.6%と低く、取締役を含めても議決権比率はほぼ変化がない。その他は、VC(49.4%)、Cephalon, Inc社(18.4%)、エーザイ(株)(5.9%)、第一三共(株)(1.4%)など。代表取締役やVCをはじめ大口株主の多く(既存発行済株式数(予約権含む)の49.3%)にロックアップが設定されているため、解除日(2012/4/17)以後の株価には留意が必要。
- ・新株予約権が、議決権の19.6%分発行されており(計25回発行)、代表取締役や役員、社外協力者に付与されている。但し、今回は公募株式が予約権を含めた株式数の30%程度行われるため、予約権を全て行使しても役員持株比率は増加せず、18.6%程度にしかならない。
- ・過去に実施した新株予約権の付与につき、募集人数のカウントミスによる無届募集を行っていた(直近は2010/3。計3回)。2010/8に必要な書類を全て提出しており現時点で未提出書類はないとのことではあるが、直前期に金商法に抵触する事実が生じている例は珍しい。
- ・役員構成は、取締役5名(社外2名。いずれも米アムジェン社の上級副社長経験者)、監査役4名(常勤2名。4名とも社外)。

© (株)アカウンティング・アシスト(無断転載禁止) URL: [www.accounting-assist.com](http://www.accounting-assist.com) E-mail: [info@accounting-assist.com](mailto:info@accounting-assist.com)

#### ※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書(Iの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実認識等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。